

2012年度 環境経営学会研究報告大会 / 第12回定期総会 “グリーンエコノミーの実現と環境経営の課題”

環境経営学会(SMF)は、持続可能な社会のためのビジネスを確立するための研究と普及活動を行うことを目的とした特定非営利活動法人です。

2012年度 環境経営学会研究報告大会

開催日時：2012年5月19日（土）10:00～19:30 、 20日（日）10:00～17:45
場 所：跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館

※詳しいアクセス情報は、跡見学園女子大学のHPからアクセスできます。

学生・院生の大会参加費は無料です。環境経営学会事務局 smf@smf.gr.jp へてに「2012年度大会
に出席を希望します」と書き、所属の大学・学科・学年、氏名、連絡先をメールで送ってください。

本研究報告大会では、第1日目（19日）の13時からの「公開講演会」（ブロッサムホール）で、環境経営学会の**中原秀樹**会長、跡見学園女子大学の**山田徹雄**学長のご挨拶の後、東京大学教授の**鬼頭秀一**先生の講演が行われます。

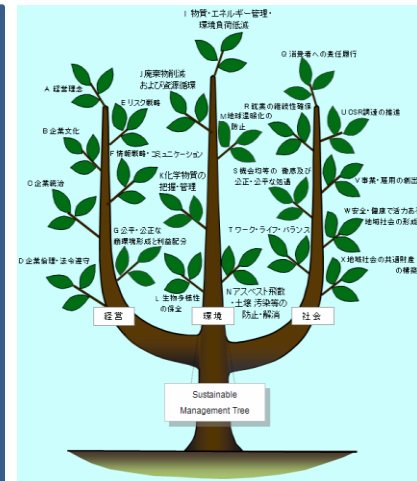


鬼頭 秀一 先生

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授

講演「震災以降の環境倫理と環境経営の課題」

※本講演会は、環境経営学会の会員以外の一般の方も参加できます（参加費無料）。参加希望の方は、環境経営学会事務局 smf@smf.gr.jpへてに、氏名、所属、連絡先をメールで送ってください。



<プログラムの概要>

5月19日（土）

	午前の部(10:00～12:00)	昼食	午後の部(1)(13:00～14:20)	午後の部(2)(14:40～16:40)	16:50～17:20	
第1会場	個別研究発表:Aセッション	環境経営学会 第12回 定期総会	<公開講演会> (ブロッサムホール) 挨拶 中原 秀樹 (環境経営学会 会長) 挨拶 山田 徹雄 (跡見学園女子大学 学長) 講演 鬼頭 秀一 先生 (東京大学 教授)	<シンポジウム> SA1 「地球温暖化問題と国際貿易—経済学・法学による分析」		懇親会 17:30～ 19:30 多目的 ホール (2号館9 階)
第2会場	個別研究発表:Bセッション			<シンポジウム> SA2 「地域金融機関における環境問題への取組」		
第3会場				<シンポジウム> SA3 「企業の持続可能を左右するサプライチェーンの国際動向」		
第4会場					ポスターセッション	

5月20日（日）

	午前の部(10:00～12:00)	昼食	午後の部(1)(13:00～15:00)	午後の部(2)(15:15～17:15)	17:30～17:45
第1会場	個別研究発表:Cセッション		<シンポジウム> SB1 「再生可能エネルギーの可能性を探る」	<シンポジウム> SC1 「サステナブル経営格付／診断を通じた持続可能な社会の構築 ～10年間の実績を踏まえて～」	優秀賞 表彰式
第2会場	個別研究発表:Dセッション		<シンポジウム> SB2 「福島原発事故における環境負債の検証」	<シンポジウム> SC2 「財務IFRSと、統合報告書(IIRC)案及び国内・国際ESGガイドラインの比較研究」	
第3会場				<シンポジウム> SC3 「『幸福』を考える」	

2012年度 環境経営学会研究報告大会

公開講演会

講演者：鬼頭秀一 先生

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授

題 目：震災以降の環境倫理と環境経営の課題

日 時：2012年5月19日(土) 13:00~14:20

場 所：跡見学園女子大学文京キャンパス
ブロッサムホール

主催：環境経営学会 共催：跡見学園女子大学

内 容：

3. 11の東日本大震災と福島原発事故は、20世紀終わりから進行しつつあった人間と自然との関係のあり方についての大きな転換を加速させた。人々の価値観は大きく揺らぎ、日本の既存のシステムが崩壊しつつある。その中で、どのような社会のあり方を求めるのか、恵み豊かであつ荒ぶる自然との関係をどのようにして社会を設計し、マネジメントしていくべきか、まだ先が見えない状況にある。環境倫理は3. 11以後の人間の自然との関係のあり方に対して明確な形でその理念的な方向性について提示しなければならない状況にある。しかし、提示されるべき理念は、思弁的なものではなく、実際の「設計(デザイン)」や「マネジメント(経営)」ということを軸に実践的に語られなければならないだろう。これからの環境経営と環境倫理の関係とその課題について展開してみたい。

【プロフィール】

1951年名古屋生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得退学(科学史・科学哲学)後、青森公立大学教授、恵泉女学園大学大学院教授等を経て、現在東京大学 新領域創成科学研究科 教授。専門は環境倫理学。生物多様性保全や自然再生と地域社会との関係、持続可能な社会の構築の理念に関する研究を行っている。各地の「現場」を歩きつつ、ローカルであつ普遍的な「環境倫理」を、「現場」から構築しようとしている。環境保全と災害克服をとともに実現する地域社会のあり方の理念を希求し、3.11後は被災地を歩きながらこれからの社会の原理のあり方を提示しようとしている。著書に『自然保護を問いなおす——環境倫理とネットワーク』(筑摩書房、ちくま新書、1996年)、『環境の豊かさをもとめて——理念と運動』(編著、昭和堂、1999年)、『自然再生のための生物多様性モニタリング』(共編著、東京大学出版会、2007年)、『環境倫理学』(共編著、東京大学出版会、2009年)、『歴史としての3. 11』(共著、河出書房新社、2012年)など。



本講演会は、環境経営学会の会員以外の方でも参加できます(参加費無料)。参加希望の方は、環境経営学会事務局 smf@smf.gr.jpあてに、氏名、所属、連絡先をメールで送ってください。